

## アクティブスピーカーシステム

### 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

**警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## Easy Talker SRS-ET1

©2000 Sony Corporation Printed in Japan

### 警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使い方をすると、火災や感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることもあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



#### 安全のための注意事項を守る

右記の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

#### 定期点検をする

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

#### 故障したら使わない


すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

#### 万一、異常が起きたら


- 煙が出たり、焦げくさいにおいがしたら
  - 内部に水などが入ったら
  - 本機を落としたり破損したときは
- ➡
  - ①電源を切る。
  - ②ACパワーアダプターを抜く。
  - ③お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する。

### 警告表示の意味







取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読み下さい。


**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。


**注意**


この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号	行為を禁止する記号	行為を指示する記号
 火災	 禁止	 強制
 感電	 分解禁止	 ぬれ手禁止

**警告**

下記の注意を守らないと、**火災・感電**により、**死亡**や**大けが**の原因となります。

 火災

 感電

### 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所、直射日光のあたる場所、水や薬品などがかかるおそれのある場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。また、本機の近くに水の入った容器などを置かないでください。



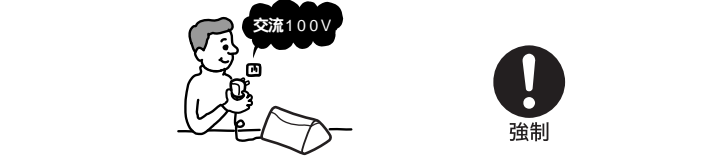
### 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



### 指定された電源電圧以外で使用しない

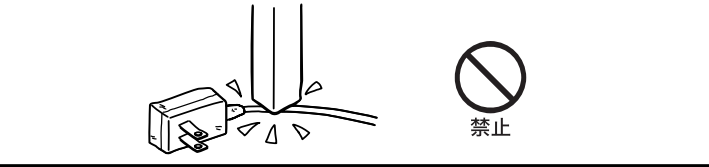
交流100Vの電源でお使いください。異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。



### 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・設置時に、製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない
  - ・電源コードを加工したり、傷つけたりしない
  - ・重いものをのせたり、引っ張ったりしない
  - ・熱器具に近づけない。加熱しない
  - ・移動させるときは、電源プラグを抜く
  - ・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く
- ➡ 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に変換をご依頼ください。



### 分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。

➡ 内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



### 風通しの悪い所に置かない


布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



### ぬれた手で電源プラグをさわらない

感電の原因となることがあります。



**注意**

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**周辺の家財に損害**を与えたりすることがあります。

### 安定した場所に置く

ぐらついた台の上、傾いたところ、振動や衝撃の多いところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も十分に確認してください。



### お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



## 故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度お調べください。

#### 音が出ない

- ➡ AC パワーアダプターがはずれていないか確認してください。
- ➡ テレビの音量が下がりきっていないか確認してください。
- ➡ 本機の音量が下がりきっていないか確認してください。
- ➡ ヘッドホンを抜いてください。

#### 急に音が出なくなった

- ➡ 接続コード及びACパワーアダプターが確実に接続されているか確認してください。

#### 音が歪む

- ➡ テレビの音量が大きすぎないか確認してください。
- 本機の音声に歪みがなくなるまで、テレビの音量を下げてください。

#### 減速しない

#### 音が聞こえて聞こえる

- ➡ 本機の音声が正常に聞こえるまで、音量を上げてください。
  - テレビの音量が小さすぎるとこのような症状が出る場合があります。
- ヘッドホンからの音声**が**二重に聞こえる**
- ➡ テレビ番組の音声の主ノ副になっています。テレビの二重音声(音声切換)ボタンで主または副に音声を切り換えてください。

#### 雑音が入る

- ➡ 接続コードがしっかりと差し込まれているか確認してください。
- ➡ 冷蔵庫など、ノイズを出す機器と同じコンセントにつないでいる場合は、別の電源コンセントにつないでください。

## 主な仕様

使用スピーカー	6 x12cm
音声出力	実用最大：1W (EIAJ*)
入出力端子	
AUDIO IN	
・FROM PHONES JACK (ヘッドホン入力端子)：	
	ステレオミニジャック
	インピーダンス47k 以上
・L/R 入力：	ピンジャック、2チャンネル
	インピーダンス47k 以上
〔ヘッドホン出力〕端子：	
	ミニジャック
	負荷インピーダンス16 以上
電源部・その他	
電源	DC9V、付属のAC パワーアダプターを接続してAC100V電源から使用
最大外形寸法	約206 x106 x117mm (幅 x 高さ x 奥行き)
質量	約600g(本体)
付属品	AC パワーアダプター(1)
	ステレオミニコード(1)
	取扱説明書(1)
	保証書(1)
	ソニーご相談窓口のご案内(1)
別売りアクセサリ	接続コード RK-C330など
	ステレオヘッドホン MDR-AV55など

\*EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

# “Easy Talker”で英語のニュース番組を聞いてみる

## 使用例



映像と音声のズレの大きさが気になるようになってきたら、再び**SPEED CONTROL (減速)**ボタンを押しそこから再スタート!

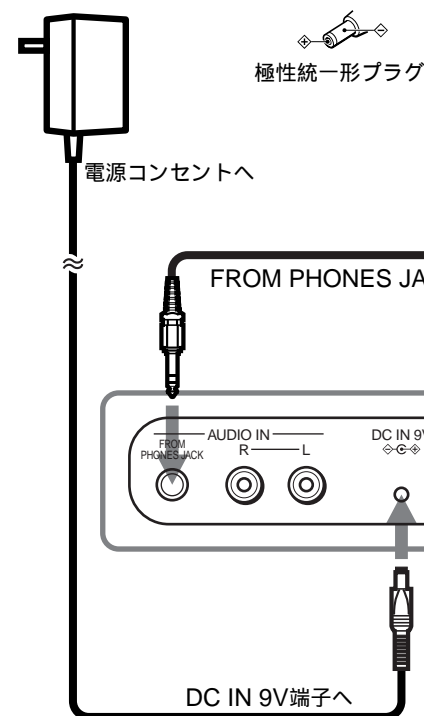
\*ステレオ放送に対応しているテレビのみ切り換え可能です。

## “Easy Talker”を使う

### 1 付属のACアダプタ - をつなぐ。

#### ご注意

付属のACパワーアダプター(極性統一形プラグ・EIAJ規格)を必ず使ってください。付属以外のACパワーアダプターを使うと、故障の原因となることがあります。

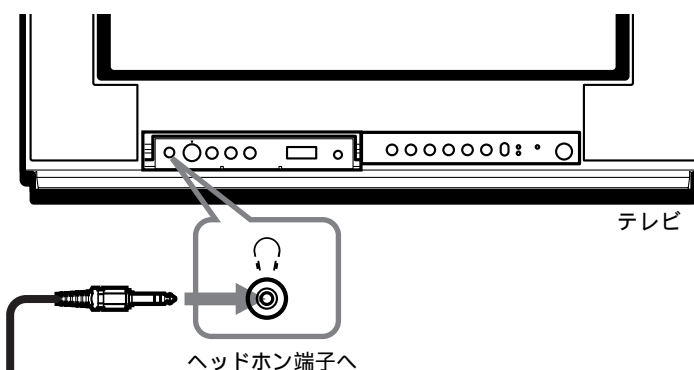


### 2 テレビにつなぐ。

付属のステレオミニコードでテレビのヘッドホン端子と本機のFROM PHONES JACK端子をつなぎます。

#### ちょっと一言

テレビのかわりにヘッドホン端子や音声出力端子付きのCDやMD、ラジオなどにつないで楽しむこともできます。



### 3 POWER(パワー)ボタンを押す。

電源が入り、「POWER」ランプが点灯します。同時に、「NORMAL」ランプも点灯します。

### 4 SPEED CONTROL(減速)ボタンでスピードを選ぶ。

NORMAL(通常の速さ: 100%)→1(約88%)→2(約82%)→3(一番遅い: 約76%)の順で遅くなります。  
( )内の数字は、通常の速さを100%としたときの減速率です。

### 5 VOLUME(ボリューム)ボタンで音量を調節する。

#### ご注意

音量の調節はテレビのボリュームではなく、本機のボリュームで行ってください。テレビのボリュームで音量を調節していると、ヘッドホン端子から音声コードを抜いた際、テレビから大音量が出ることがあります。

#### 通常のスピードに戻すには

NORMALボタンを押す。

#### 画面と音声のズレが大きくなったときは

SPEED CONTROL(減速)ボタンをもう一度押す。  
それまでの音声が一度リセットされて、押したところから再度選んだスピードで音声が減速され直します。ランプが点灯しているSPEED CONTROL(減速)ボタンをもう一度押すと、同じスピードで減速され直します。

#### 二か国語放送など二重放送のときは

テレビの二重音声(音声切換)ボタンで聞きたい音声に切り換える。  
テレビ番組の音声によって、次のように聞こえます。

テレビ番組の音声	本機の音声
主/副	主/副のミックス
主	主
副	副
ステレオ	モノラル

#### ご注意

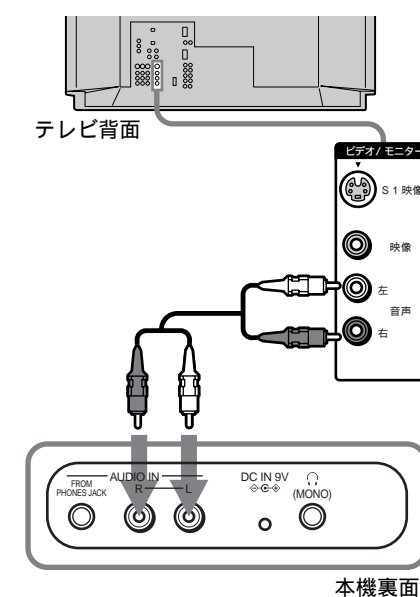
二重音声はステレオ放送に対応しているテレビをお使いの時のみ選択できます。

#### 本機の音声をヘッドホンで聞くとときは

本機裏面の(ヘッドホン出力端子)にヘッドホンをつなぐ。  
音声はモノラルです。

#### 減速された音声を聞きたくない人がいるときは

本機のAUDIO INPUT端子とテレビのビデオ/モニター出力端子の音声出力端子(右/左)をつなぎ、本機の(ヘッドホン出力)端子にヘッドホンをつなぐと、自分は減速した音声をヘッドホンで聞き、家族などの他の人は通常の音声をテレビのスピーカーで聞くことができます。



#### ご注意

AUDIO INPUT端子とFROM PHONES JACK端子を同時につながないでください。